

第2回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 資料

(1)第1回協議会の振り返り

- 日時:令和5年7月27日(木)14時～
- 会場:堀川地区センター
- 次第:
 - 1 開会あいさつ
 - 2 協議会委員のご紹介
 - 3 協議会規約及び承認案件について
 - 4 関係者協議会資料に関する意見交換について
 - (1)これまでの経緯について
 - (2)現状分析について
 - (3)将来ビジョンについて
 - (4)実施体制及びスケジュールについて
 - 5 次回協議会の日程調整について



■主なご意見の抜粋

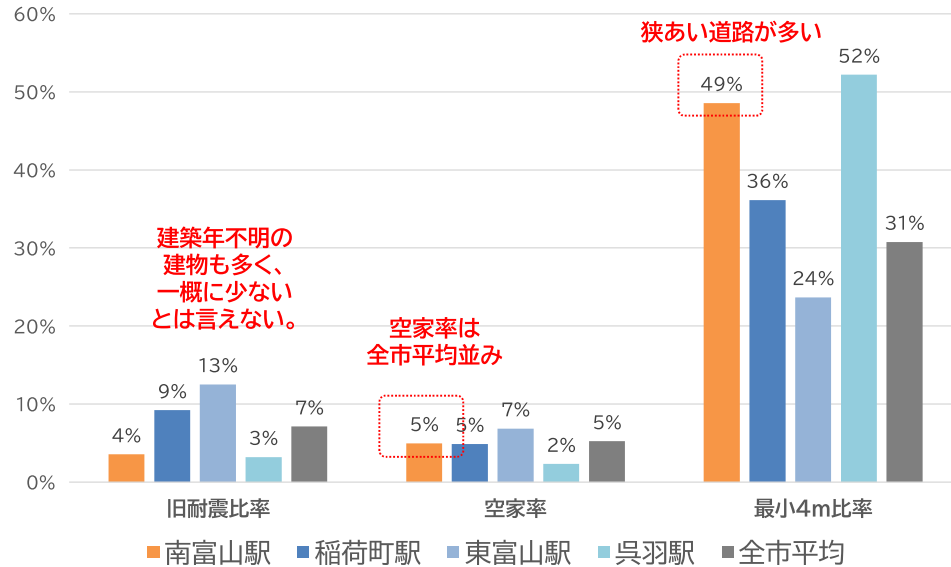
堀川自治振興会	堀川南自治振興会	富山地方鉄道(株)	富山県宅地建物取引業協会	全日本不動産協会
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の問題や一方通行など、課題がたくさんあり、<u>どこから手を付けていいかわからない状況</u>にある。 ・文教地区で住環境はよいが、<u>交通面では危険</u>も多い。 ・あれもこれもは難しいので、<u>絞り込んでやる必要</u>もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスを運行しているが、なかなか難しい状態。 ・<u>地下道は怖い</u>といった声がある。また、<u>空き地はあるが、駐車場がない</u>。 ・人口の多い地区から呼び込めるようなことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南北接続後、目的地別に待機列ができ、列が長くなるなどの課題を認識している。 ・<u>乗り継ぎ旅客の多様化に現状の施設が追い付いていない</u>。 ・<u>車が必要な方と、特に必要としない方が棲み分けられるまちづくりも重要</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南富山周辺で調査をしたところ、10～15%が空き家になっていた。 ・<u>道路の幅員、融雪の有無、車を止められる敷地の広さが整っている土地</u>が若い世代から求められている。 ・<u>再建築ができない物件</u>もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南富山駅周辺での進学や、市内へ市電で通勤しやすいために、<u>南富山駅周辺を選択する人が多い</u>。 ・<u>文教地区としての魅力を高めていくことも価値がある</u>と考える。 ・既成市街地の改善は民間事業者ではなかなか手が出ない。
南富山まちづくりを考える会	南富山商盛会	堀川中学校	富山高校	富山いずみ高校
<ul style="list-style-type: none"> ・ハード事業が進まないところが大きな課題で、<u>道路の狭さの問題</u>もある。 ・ずっと残された<u>空き家や朽ちた家々</u>がある。 ・<u>駐輪場の容量や市電待ちの人の整理</u>も必要。 ・少子高齢化の問題もあり、<u>地域行事などの継続</u>にも課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>商売をできるようなお店が少ない</u>。事務所などの用途に変わっていった。 ・大きな駅ビルのようなものがあれば、商店街に人が流れることも考えられる。 ・市内電車の接続もいいで、<u>中心市街地も含めた全体のバランス</u>を考えることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道を1列に歩いても、道路が狭いので限界があり、学校の指導だけでは限界がある。 ・南富山駅前では、<u>人の列が車を止めるような状態なので、解消が必要</u>。 ・<u>文教地区である特性を活かしたまち</u>にすることで、南富山らしさが生まれるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>交差点で歩行者がたまってしまう、危険な状況</u>がある。 ・子供の送迎もあるため、道路のルールを決めるか、<u>生徒がスムーズに流れるような動線の棲み分け</u>が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心とした<u>交通整理や渋滞対策は、子供達の安全にかかわる</u>ので、安全性が高まるようにしたい。

⇒「駅を含む交通環境」、「南富山らしさを活かした目的づくり」、「古くからの市街地改善」などに対するご意見

(2)現状分析の追加検証

■市内の主要拠点駅周辺における都市基盤等の現状

図1 南富山駅、稲荷町駅、東富山駅、呉羽駅における市街地の状況比較



【データ諸元】

旧耐震比率：住居系建物数に対する旧耐震建物数の割合（2018(H30)都市計画基礎調査）
 空家率：2018(H30)住居系建物数に対する空家数の割合（2023(R5).8時点の市調査データ）
 最小4m比率：市道延長に対する最小幅員4m未満の区間を含む市道延長の割合（2022(R4)道路台帳）
 ⇒駅から500m圏内にある町丁別に上記割合を算出し、それを平均化して算定

南富山駅周辺の空家率は市平均並みで、狭あい道路が多い

【参考】

■地震災害に対する懸念

令和6年能登半島地震では、富山市内で震度5強の被害を受け、周辺地域では、ブロック塀の笠木等が落下するなどの被害も見られた。将来、さらに大きな震度の地震があった場合には、塀の倒壊によって道路が塞がり、安全な避難や緊急車両の通行が困難になるなどの懸念がある。



図2 南富山駅周辺の町丁別狭あい道路(幅員4m未満)率

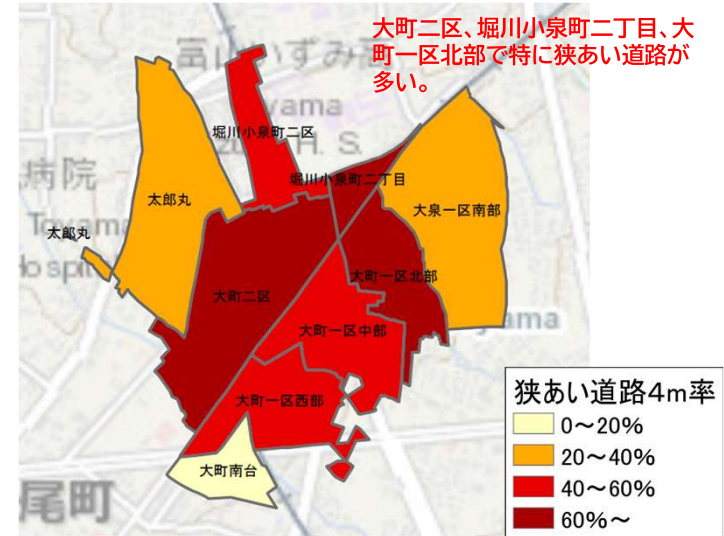
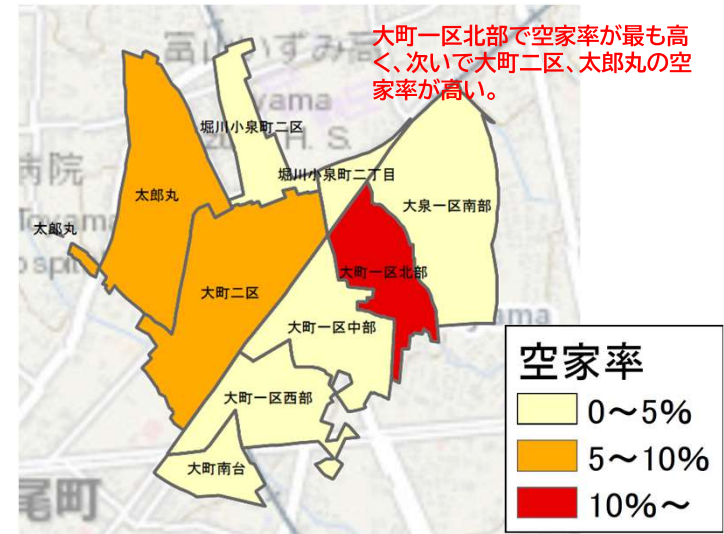


図3 南富山駅周辺の町丁別空家率



第2回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 資料

(3)これまでの活動から得られた市民意見

1)市民意見の集約に向けた取り組み

■(仮称)南富山駅周辺まちづくりビジョンの基本的な考え方

南富山駅周辺の10年後の未来に向けて、地域特性を活かした**活力と魅力あるまちへ再編するための方向性**を示すものであり、また、より豊かな“南富山らしい”まちの姿を**多様なひとや関係者同士が共有するための指針**として策定するもの

実現に向けて…

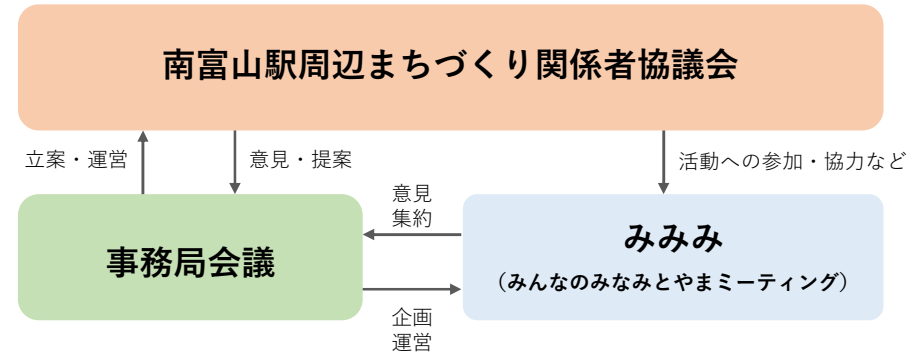
みみみ (みんなのみなみやまミ(み)ーティング)

周辺住民や駅利用者などとの対話を行う場
(多様なアイデアやありたい姿を様々な形式で集約化)



東工大真野研究室との協働で実施

図4 関係図(第1回協議会資料より)



【参考】

■富山いずみ高校における総合的な探求の学習 (南富山まちづくりを考える会との協働)

考える会との協働により、南富山駅周辺まちづくりに関心を持った高校生とともに、「すぐろく」を活用した南富山の良さや課題を把握する取り組みを通して、その解決に向けた検証と提案を行う取り組みを実施。11月には市長への中間プレゼン発表を行った。

図5 南富山すぐろくワークショップ



図6 市長への中間プレゼン発表



■ニュースレター(みみみニュース)などの情報発信

「みみみ」で取り組んできた活動内容や寄せられた意見などを取りまとめ、ニュースレターを作成し、市HP等で公開。また、様々な取り組みに対するメディア等を介した情報発信を通じて、南富山への関心を持ってもらう市民を増やし、まちづくりへの機運醸成を図る。

図7 みみみニュース



(3)これまでの活動から得られた市民意見

2)シール投票

■実施期間

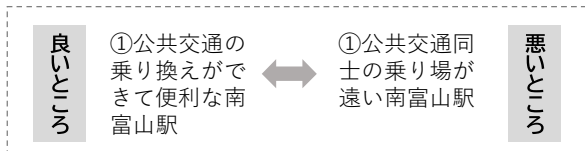
9月中旬～9月末までの2週間程度

■実施場所及び対象者のイメージ

- ①南富山駅舎
…駅利用者、地域住民
- ②大阪屋ショップ(下堀店・太郎丸店)
…地域住民、広範な市民
- ③学校(堀川中学校・富山高校・富山いずみ高校)
…中学生、高校生

■シール投票の構成

①「良いところ」と「悪いところ」が表裏一体となるように投票項目を設定



②実施場所である駅舎、スーパー、学校ごとの対象者のイメージを踏まえて、投票項目の記載内容を変更

<滞在空間に関する項目>
【スーパー】使いたい公園やまちに緑が少ない
【学校】自習や友達と遊べる場所が少ない

③「20代以下」、「30～40代」、「50～60代」、「70代以上」の年齢構成ごとに、シールの色を変えて投票

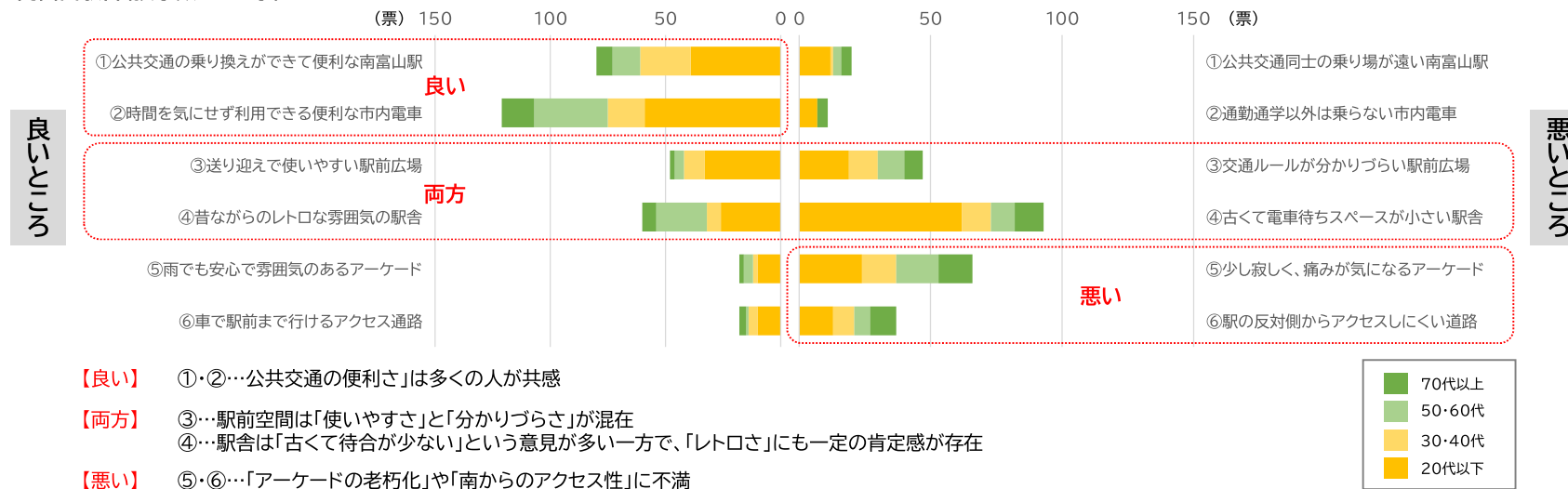
図8 シール投票の掲出状況



【将来ビジョン策定に向けた狙い】

地域住民や駅利用者などが抱いている南富山への印象を俯瞰的に把握し、全体像をつかむ

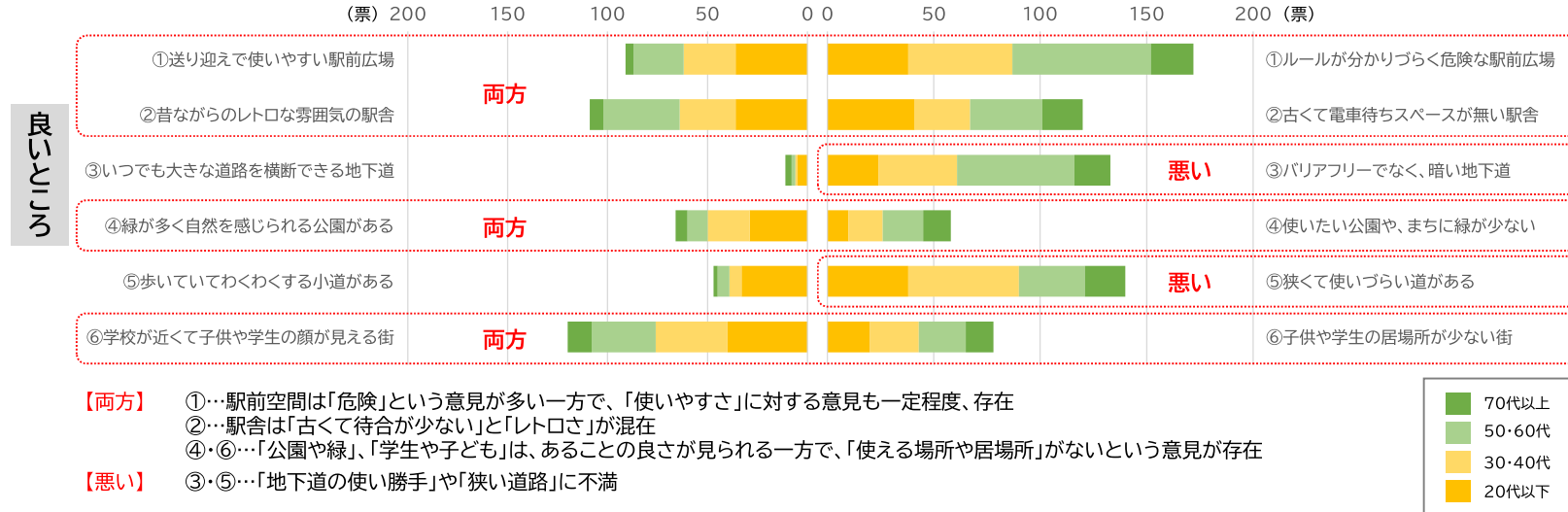
◎南富山駅舎(投票数:619票)



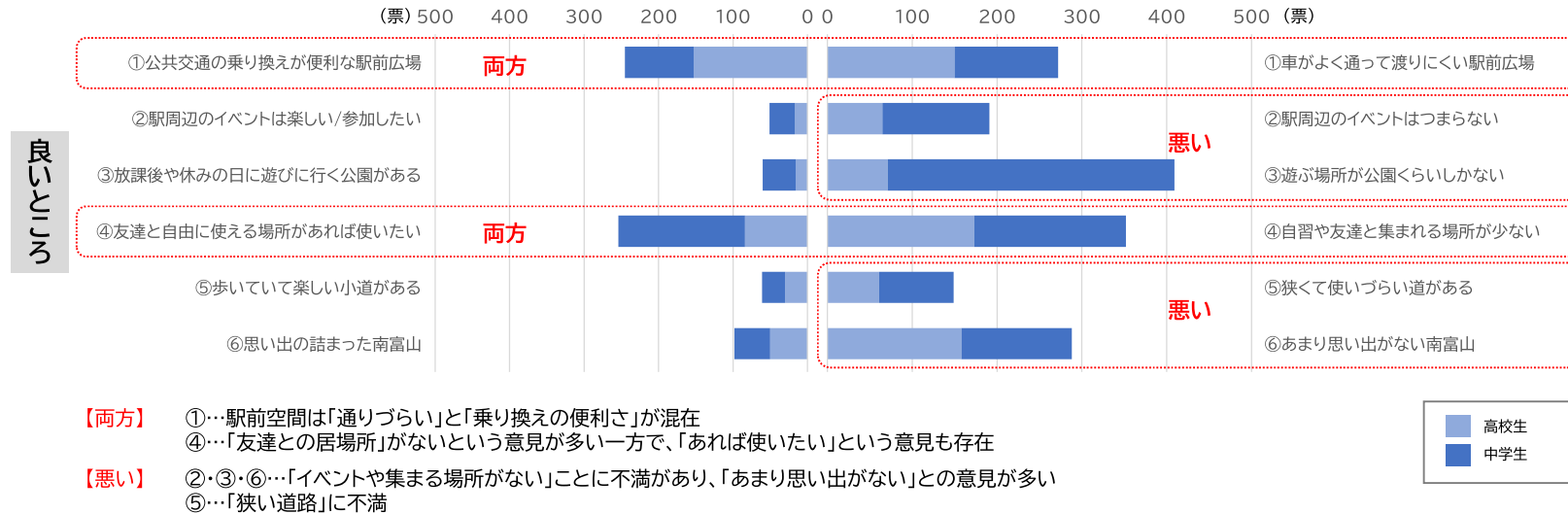
第2回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 資料

(3)これまでの活動から得られた市民意見

◎大阪屋ショッピング(投票数:1,145票)

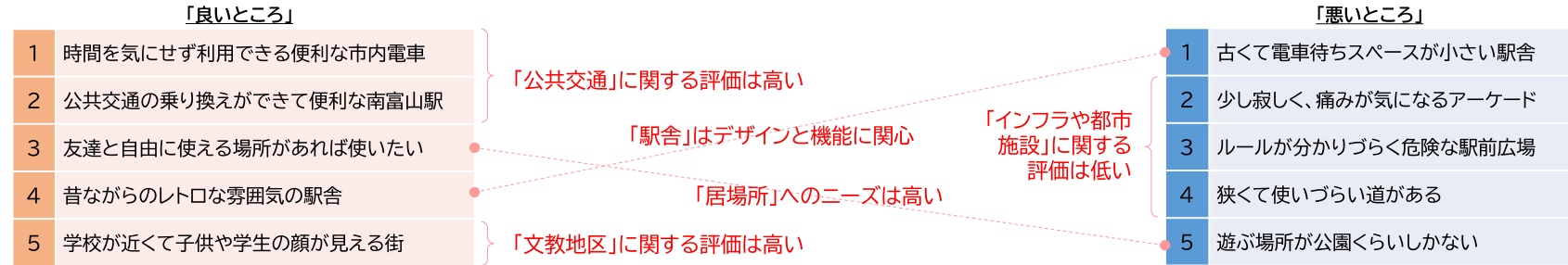


◎学校(投票数:2,430票)



(3)これまでの活動から得られた市民意見

■関心の高い上位5項目



■年代別にみた得票率の比較

<20代以下(中高生含む)>

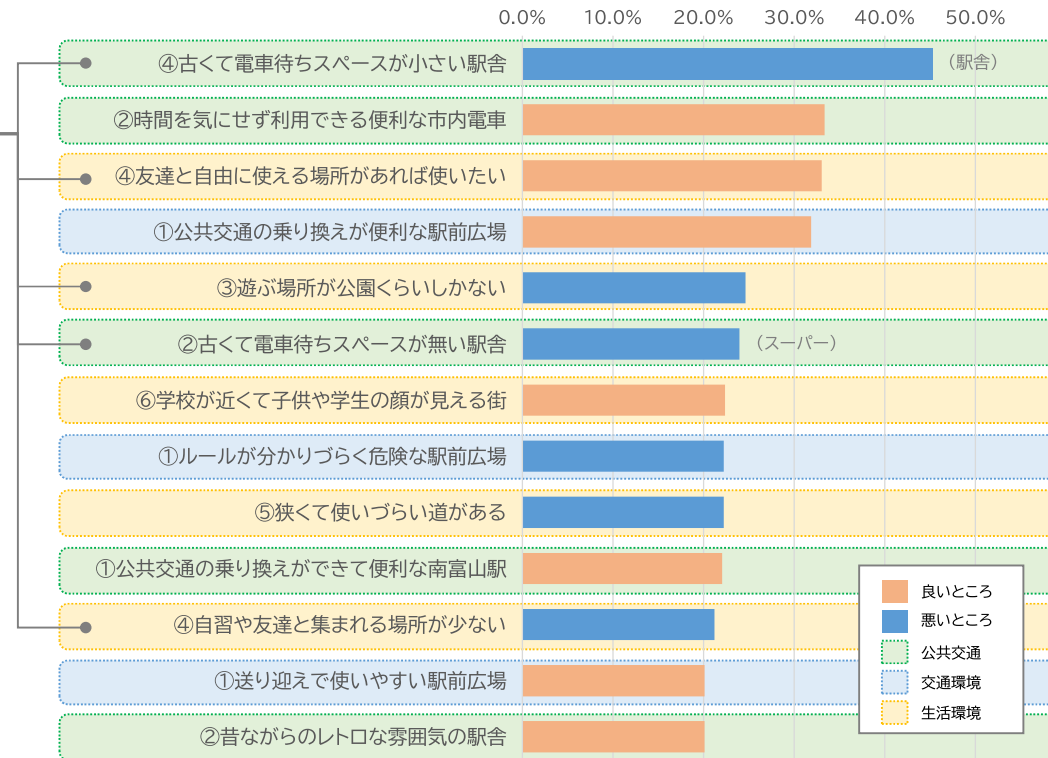
通学・通勤などでの利用が主であり、通り過ぎる場所というイメージが先行し、電車待ちスペースや友達と過ごす場所などの「**居場所**や**空間**」に対するニーズが伺える

公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 待合空間への意見が多い 公共交通に対する評価は高い
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> 乗り換えの便利さへの評価
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 友達などと過ごせる場所が少ないことへの意見が多い 道の狭さへの懸念がある

【データ諸元】

得票率：設置場所ごとの年代別投票総数に占める項目別投票数の割合

図9 20代以下における得票率ランキング(20%以上の回答を抽出)



第2回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 資料

(3)これまでの活動から得られた市民意見

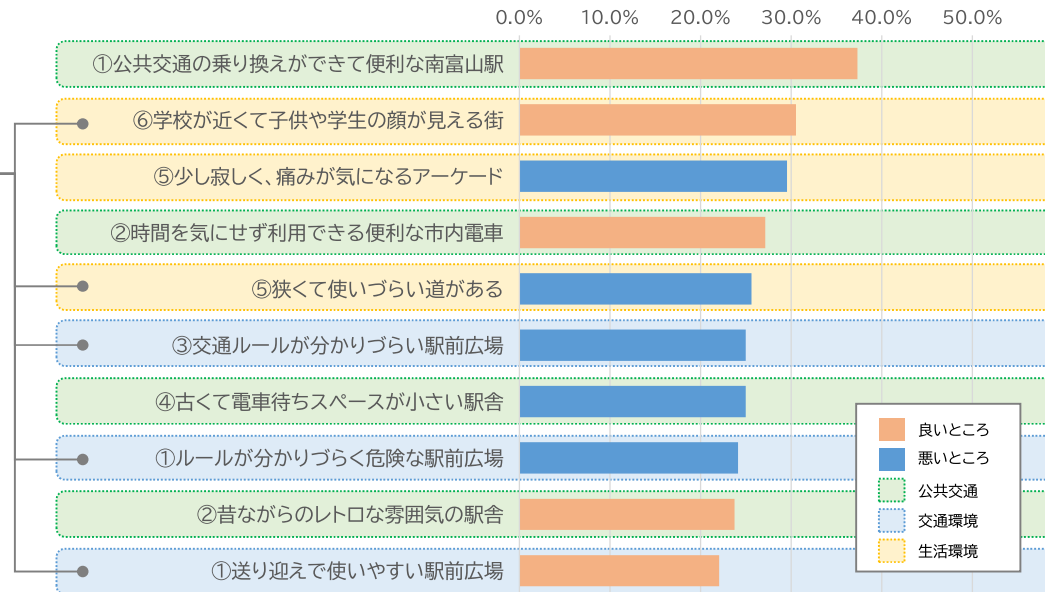
■年代別にみた得票率の比較

<30代・40代(ファミリー層)>

子どもを持つ世代であることなどから、「**文教地区としての価値や魅力**」への関心が高く、送迎や自身の移動も含めた視点から、「**自動車との共存**」に対するニーズが伺える

公共交通	・公共交通の利便性への評価
交通環境	・駅前空間の危険性に対する懸念
生活環境	・文教地区であることの評価 ・アーケードや狭い道などのインフラに対する懸念

図10 30代・40代における得票率ランキング(20%以上の回答を抽出)

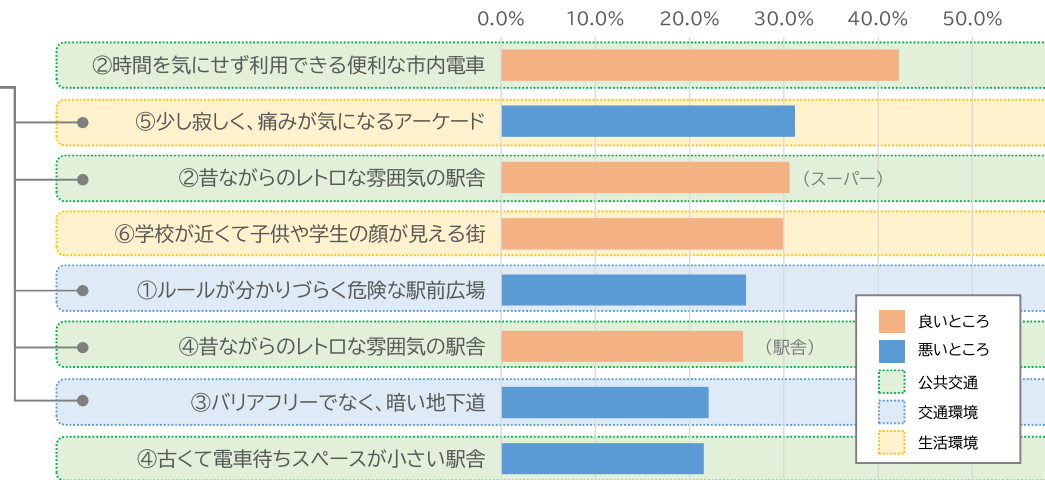


<50代以上(団塊ジュニア~高齢者)>

長く地域に暮らし、駅を利用していることなどから、「**駅舎への愛着**」が見られる一方で、アーケードや地下道、駅前空間など、「**安全に使える歩行空間**」に対する関心が伺える

公共交通	・公共交通の利便性やレトロな駅舎への評価
交通環境	・駅前空間に限らず、地下道などのインフラに対する懸念
生活環境	・文教地区であることの評価 ・アーケードに対する懸念

図11 50代以上における得票率ランキング(20%以上の回答を抽出)



(3)これまでの活動から得られた市民意見

3)南富山駅周辺まちづくり対話会

■開催テーマ

①交通・駅前空間編と②暮らし編の2テーマを設定

■開催日時・参加者数・タイトル

①交通・駅前空間編: 広く地域住民や駅利用者などを対象

第1回 令和5年11月26日(日) … 19名

「理想の姿や使われ方を考えてみよう」

第2回 令和5年12月17日(日) … 16名

「理想を現実にするためのアイデア」

②暮らし編: 周辺3町内会を対象

第1回 令和5年11月26日(日) … 14名

「南富山駅周辺の暮らしを考えてみよう」

第2回 令和6年1月21日(日) … 9名

「暮らしやすい理想のまちを考えてみよう」

【将来ビジョン策定に向けた狙い】

地域住民や駅利用者など、市民同士の対話から生まれた意見を基に、将来ビジョンに取り入れる視点や要素をつかむ

■対話会の進め方

グループごとに分かれ、机上に広げられた南富山駅周辺の地図やワークシートなどを使いながら、個人の考えや意見をとりまとめ

⇒グループ内での共有+全体発表の実施

図13 対話会で集められた意見



全部で606枚のふせん

図14 対話会チラシ(第1回交通・駅前空間編)

南富山駅周辺まちづくり対話会 ～交通・駅前空間編～

南富山の未来をみんなで話してみよう

学生からお年寄りまで、どなたでも気軽にご参加ください！

第1回対話会テーマ
『理想の姿や使われ方を考えてみよう』

日時：11/26(日)13時00分～14時30分
会場：堀川地区センター2階多目的ホール
参加人数：20～25名程度

なぜやるの？
現在、富山駅では、南富山周辺に暮らす皆さんや南富山駅を使う皆さんが、「南富山に住み続けたい！使い続けたい！」と考えるような「南富山の将来像」について、地域住民や駅利用者が主体的に語り合いたいと考えています。若い世代の皆様については、地域住民や駅利用者の方々と行旅などが協力して、実現に向けた活動を継続してまいります。

何をするの？
第1回対話会(交通・駅前空間編)は、皆様と一緒に地図を広げながら、お持ちの経験から交通や駅前空間の現状、理想の姿や使われ方を共有し合うことから始まります。今後、3回程度の対話会を通し、皆さんからのご意見やアイデアを南富山の将来像に反映していきたいと考えています。

申込方法 11/20(月)までに最上のQRコードから申し込みください。
富山駅駅舎1階まで「活用・連携」看板をご確認ください。
☎076-443-2179 📧 tshshkai@city.toyama.lg.jp

【主催】 富山駅前対話会・東京工業大学研究開発

図12 南富山駅周辺まちづくり対話会の様子



(3)これまでの活動から得られた市民意見

■対話会での意見のとりまとめ



全部で606枚の心せん ⇒ 「目的」・「目標」・「手段」からまとめる

“誰が何を”できる場所となって欲しいか？(目的)



学生や地域の方が滞在・交流できる

【具体の意見】

- ・友達とおしゃべりできる ・学生が滞在して楽しめる ・木陰で過ごせる ・地域の皆さんも過ごしやすい
- ・飲んだり遅くまで滞在できる ・お祭りや地蔵祭り ・立ち話やあいさつ など



誰もが安全に安心して暮らすことができる

【具体の意見】

- ・子供が安全に走り回れる ・バリアフリーで清潔な歩道を歩ける ・雪が降っても生活に支障がない環境
- ・地域内での連絡体制づくり ・火災などの災害にも強い など



多様な人が学びやチャレンジできる

【具体の意見】

- ・学生も大人も学ぶことができる ・待ち時間に仕事ができる ・若い人が戻ってくるようなまち
- ・個店などでチャレンジできる ・様々なイベントが開催されている ・文化や芸術のまちのイメージ など

“なぜ”そのような南富山になるべきか？(目標)



子どもから大人まで全員に愛される

子どもや学生が多く見えるまちであり、地域に暮らす子育て世帯やお年寄りも含め、様々な人の居場所があることで、緩やかな繋がりや会話、交流が自然に生まれ、南富山への愛着が育まれていく



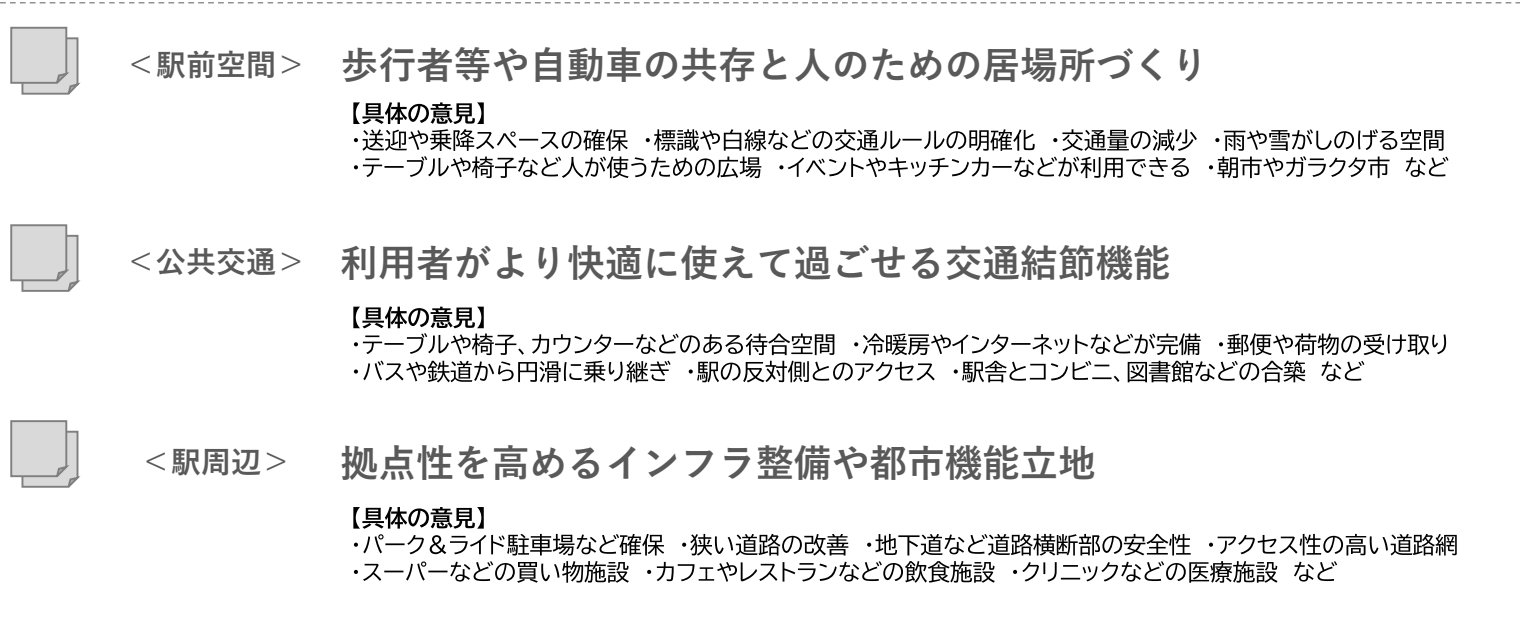
魅力を感じ、時間やお金を消費したくなる

利便性の高い公共交通や文教地区の特性を伸ばし、南富山への魅力を感じた多様な人が訪れて、時間を過ごしてもらうことで、将来の新たな住まいや出店意欲などを促していく

(3)これまでの活動から得られた市民意見

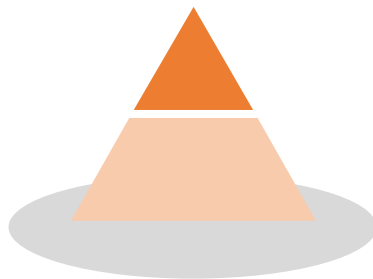
■対話会での意見のとりまとめ

“どこにどのような”空間や取り組みがあれば実現できるか？(手段)



4) 将来ビジョンに対する市民意見の反映

【将来ビジョンの構成イメージ】



…エリアコンセプト (全体方針)

…目標とする未来像 (個別方針)

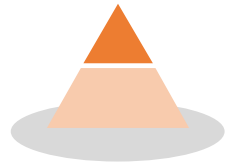
…背景 (現状認識や市全体のまちづくり、社会・時代の潮流など)



シール投票やまちづくり対話会で
得られた考えや理想の姿などを考慮

(4) 将来ビジョン骨子

1) 将来ビジョンの構成案



…エリアコンセプト（全体方針）

▶ 第4章

…目標とする未来像（個別方針）

…背景（現状認識や市全体のまちづくり、社会・時代の潮流など）

▶ 第1章～第3章

第1章 はじめに

- (1) 南富山駅周辺って？ → 歴史、エリア特性、まちづくりの経緯、考える会などの活動
- (2) なぜ「ビジョン」が必要なのか？ → すでに「まち」があり、「暮らすひと」と「使うひと」が存在
多様な価値観や考えを認め合いながらまちづくりを進めることが重要
- (3) ビジョン策定に向けた取り組み → 協議会、対話会などの協働の取り組み、寄せられた意見とビジョンの関係

第2章 南富山駅周辺まちづくりビジョンとは

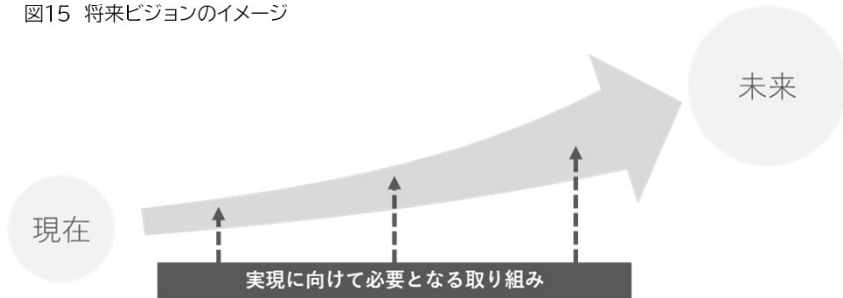
(1) ビジョンの目的

南富山駅周辺の**10年先**を見据えて、**活力と魅力あるまち**
へと再編していくこと

なぜ10年先…？

今を暮らす皆さんが想像しやすく、より良い未来の実現に向けて必要となる取り組みを着実に進めていくことが重要

図15 将来ビジョンのイメージ

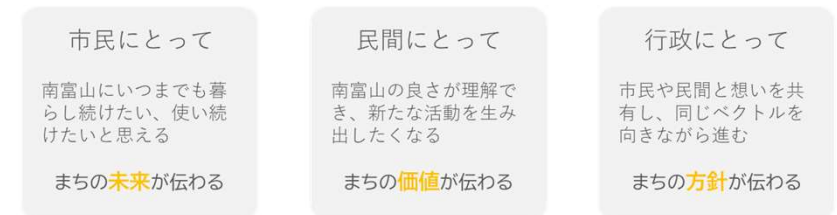


(2) ビジョンの役割

- ① 南富山駅周辺の**これからのまちの方向性**
- ② 市民や関係者など、多くのひとが**共有し合える指針**

役割が果たされると…？

図16 ビジョンがもたらす効用



(3) ビジョンの想定範囲

南富山駅から**概ね半径500m**

(4) 将来ビジョン骨子

1) 将来ビジョンの構成案

第3章 南富山駅周辺の“現時点”

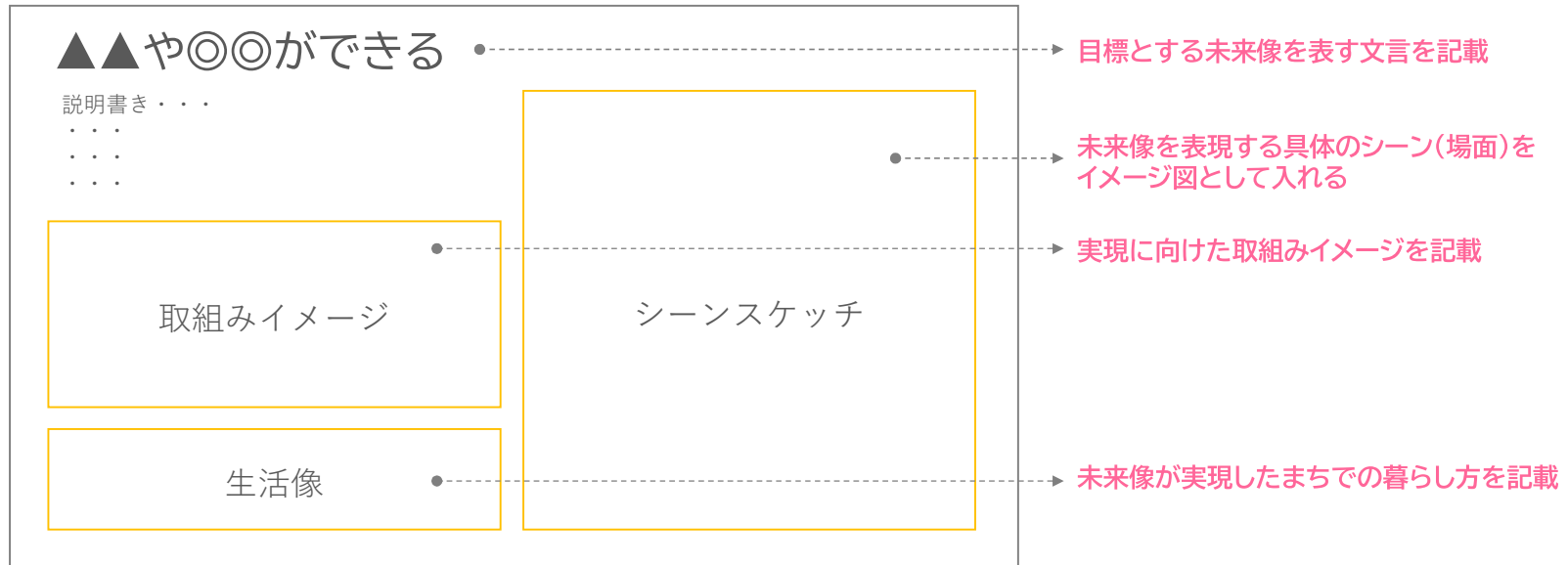
- (1) 現状認識～市民について(人口や滞留)～
- (2) 現状認識～民間活動について(土地や建物)～
- (3) 現状認識～公共的空間について(交通)～
- (4) 南富山駅周辺の“現時点”

第1回関係者協議会資料などから作成

第4章 ビジョン

- (1) 富山市全体からみた南富山の位置づけ ● → 都市マスタープランや公共交通ネットワークなどから整理
- (2) 南富山が目指すエリアコンセプト ● → 「全体方針」を文言で表現
- (3) 目標とする未来像 ● → 「個別方針」と「イメージ図」で表現

図17 目標とする未来像を示すページのイメージ



第5章 ビジョンの実現に向けて ●

→ 将来ビジョンの策定を受けて、今後何が必要かを記載
必要となるもの: 主体の役割と連携、実証と施策、デザイン、ルールなど

(4)将来ビジョン骨子

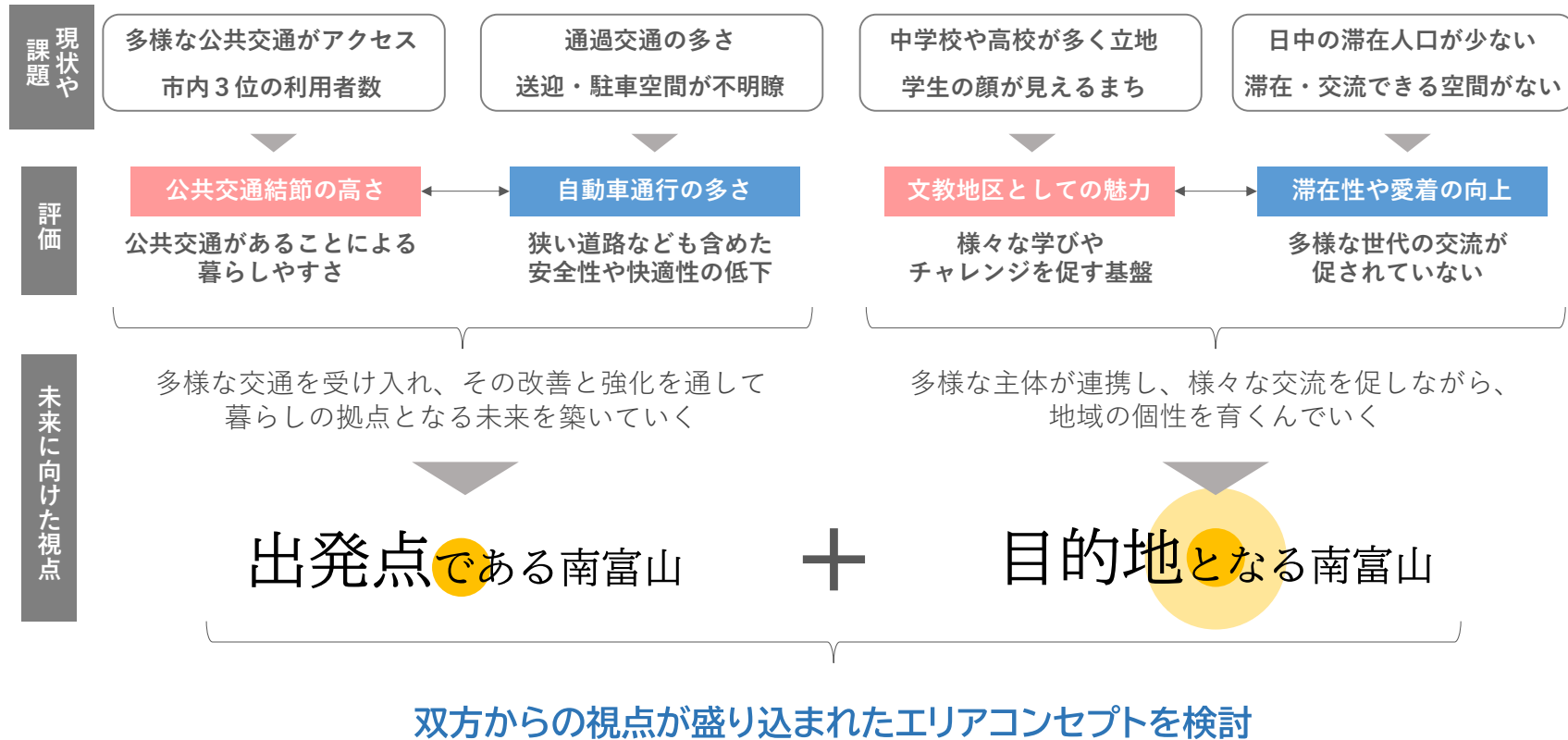
2)南富山が目指すエリアコンセプト(たたき案):第4章(2)

■(仮称)南富山駅周辺まちづくりビジョンの基本的な考え方

南富山駅周辺の **10年後の未来**に向けて、地域特性を活かした**活力と魅力あるまちへ再編するための方向性**を示すものであり、また、より豊かな“南富山らしい”まちの姿を**多様なひとや関係者同士が共有するための指針**として策定するもの

未来の市民や南富山に向けた“メッセージ”として設定

<市民意見などを踏まえた現状や課題、評価等によるまとめ>



(4)将来ビジョン骨子

3)目標とする未来像(たたき案):第4章(3)

エリアコンセプトの実現に向けて、地域、民間、行政が協働して目指す“まちの姿”として、未来像を設定

1 公共交通

■ シームレス(継ぎ目なし)にまちと繋がる

市内電車や鉄道、路線バスなどの結節力と利便性を高め、様々な場所にアクセスしやすい環境の実現を目指す

【取組イメージ】・駅舎も含めた公共交通の機能強化 ・待合環境の改善 ・公共交通を利用しやすい駐車や駐輪環境づくり など

2 移動

■ 誰もが、どこへでも安心して歩くことができる

十分な幅員や段差のない歩行空間がつながり、自動車にとっても安全に移動できる環境の実現を目指す

【取組イメージ】・バリアフリーな歩行空間の確保 ・駅前道路空間の改善(送迎、標識など) ・周辺道路とのネットワーク構築 など

3 居住環境

■ 住みたい、住み続けたい安全で豊かな環境が整っている

安全に住み続けられるインフラが整い、身近な自然や地域との繋がりが感じられる環境の実現を目指す

【取組イメージ】・狭あい道路の改善などの災害に強い都市基盤 ・街路樹などの自然環境づくり ・地域行事やコミュニティ活動 など

4 暮らし

■ まちの中に自分らしく過ごせる場所や目的がある

日常の暮らしの中で、誰もがいつでも居られる空間や都市機能があり、外出したくなる環境の実現を目指す

【取組イメージ】・多目的な広場空間づくり ・天候に左右されずに雑談や自習、仕事ができる空間 ・地域や市民ニーズの高い都市機能 など

5 付加価値

■ 新しい学びやチャレンジに触れる、できる、したくなる

多様な世代や主体が協働し、南富山のポテンシャルを活かした新しい価値が生まれる環境の実現を目指す

【取組イメージ】・教育機関や企業等との連携による学びの場づくり ・新規出店やイベント開催 ・芸術やアートなどの文化的活動 など

(5)今後のスケジュール

令和6年1月29日(月) 第2回関係者協議会



ご意見を基に、ビジョン骨子を修正し、素案を作成

令和6年2月中旬 第3回南富山駅周辺まちづくり対話会

⇒ビジョン素案を提示し、市民意見の集約を図る



ビジョン案の作成

令和6年3月中旬 第3回関係者協議会

⇒ビジョン案を提示する



■開催候補日

3月15日(金) または 18日(月)のいずれかで時間未定

⇒後日改めてご案内いたします

ご意見を基に、ビジョンの最終修正

令和6年3月末(予定) 南富山駅周辺まちづくりビジョンの公表

【参考】将来ビジョンの最終成果物について

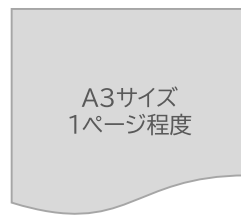
全体版



A4サイズ
15~20ページ程度

・提示した構成案に基づいて作成

概要版



A3サイズ
1ページ程度

・エリアコンセプトや目標とする未来像を中心に構成

図18 概要版のイメージ(つくば中心市街地まちづくりビジョン)

世界のあしたが見えるまち。

リラックス × 遊び心
Relax × Fun
魅力と興味が溢ればめられ、訪れたいまち

- 【イメージ】
- 買い物に行きたくなる充実した店街
- 一日中過ごせるサードプレイス(ペストリアンデッキ、公園、センター広場、図書館等)
- 魅力を取り入れ歩きたくなるプレイスメイキング
- みんなで出かけたくなる文化芸術・スポーツイベント
- 駅前で豊かな生活

科学技術の恩恵 × 新たな価値の創発
Science Technology × Innovation
科学技術が日常に溶け込み、イノベーションが生まれ出されるまち

- 【イメージ】
- 多様なコミュニティが融合し、イノベーションが起きるクリエイティブスペース
- 知財保護やアイデアを得られるコンベンション
- 科学技術が日常に取り入れられている生活
- 市民参加が新しいビジネスにつながるスタートアップの拠点
- 身近に科学が楽しめ、学べる環境

ローカル × 持続可能性
Local × Sustainability
地域に根差した持続可能なまち

- 【イメージ】
- 地域の生産者と消費者が出会うマーケット
- 緑豊かな自然あふれる街路や公園
- 歩行者や自転車などにより心地よいまち
- 多様な働き方ができる環境としたオフィス環境
- 多岐にわたる世代の交流があり、健康で安心なコミュニティ